

3 特別会計及び企業会計の決算状況

特別会計全体の歳出決算は、表38のとおり、106億2千万円となりました。

企業会計である水道事業会計の決算は、表39のとおり、損益計算においては、収益が8億7千万円で、費用は7億8千万円となり、当年度純利益が6千万円、当年度末処分利益剰余金が4億5千万円となりました。

主な理由については、各会計の決算状況をご覧ください。

表38 特別会計の決算状況

(単位：千円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	一般会計からの繰入金	一般会計への繰出金
農業公園事業	241,545	214,729	1,122	0
国民健康保険	4,786,090	4,423,566	257,694	0
後期高齢者医療	803,706	800,595	496,559	29,056
介護保険	2,917,947	2,848,792	534,568	30,528
農業集落排水事業	332,678	315,161	178,270	0
下水道事業	1,537,974	1,459,845	880,767	0
合 計	10,619,939	10,062,689	2,348,980	59,584

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

表39 企業会計の決算状況

(単位：千円)

区 分	収益的収入	収益的支出	一般会計からの補助金
水道事業	866,845	779,088	31,130

(1) 農業公園事業特別会計の決算状況

平成25年度の歳入決算額は、2億4千万円で前年度に比べ1億円(74.6%)の増となりました。歳出決算額は、2億1千万円で、前年度に比べ1億円(81.5%)の増となりました。

歳入は、クラインガルデン上下水道使用料やイベント参加料などの諸収入(3百万円)が減となりましたが、農業公園整備基金繰入金(2千4百万円)、前年度繰越金(8百万円)、農業公園レストラン整備事業に充てた辺地対策事業債(7千3百万円)が増となり、1億円の増となりました。

歳出は、辺地対策事業債を利用した農業公園施設整備事業(7千3百万円)、観光施設整備事業(9百万円)の増などにより、9千6百万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表40、図14をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図15をご覧ください。

表40 農業公園事業特別会計の決算状況

歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
負担金及び分担金	962	0.4	943	0.7	19	2.0
使用料及び手数料	51,523	21.3	50,758	36.7	765	1.5
財 産 収 入	11,078	4.6	10,842	7.8	236	2.2
繰 入 金	44,796	18.5	20,000	14.5	24,796	124.0
繰 越 金	20,038	8.3	12,335	8.9	7,703	62.4
諸 収 入	37,447	15.5	40,654	29.4	△ 3,207	△ 7.9
市 債	75,700	31.3	2,800	2.0	72,900	2,603.6
歳 入 合 計	241,545	100.0	138,331	100.0	103,214	74.6

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
農業公園事業費	213,327	100.0	118,293	100.0	95,034	80.3
公 債 費	1,402	0.7	0	0.0	1,402	皆増
歳 出 合 計	214,729	100.0	118,293	100.0	96,436	81.5

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

図14 農業公園事業特別会計の科目別決算状況

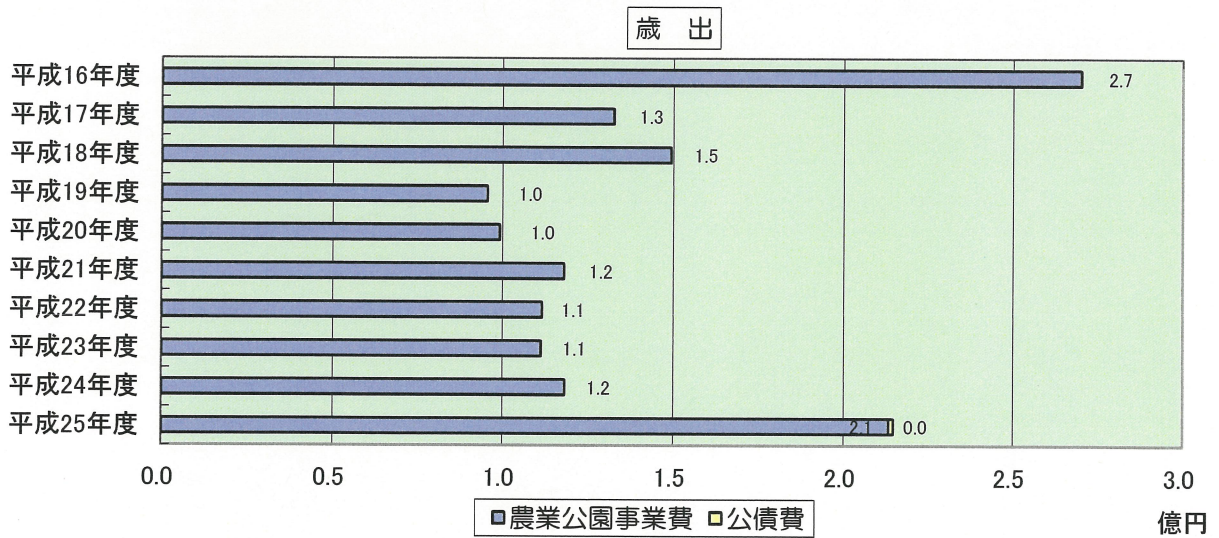
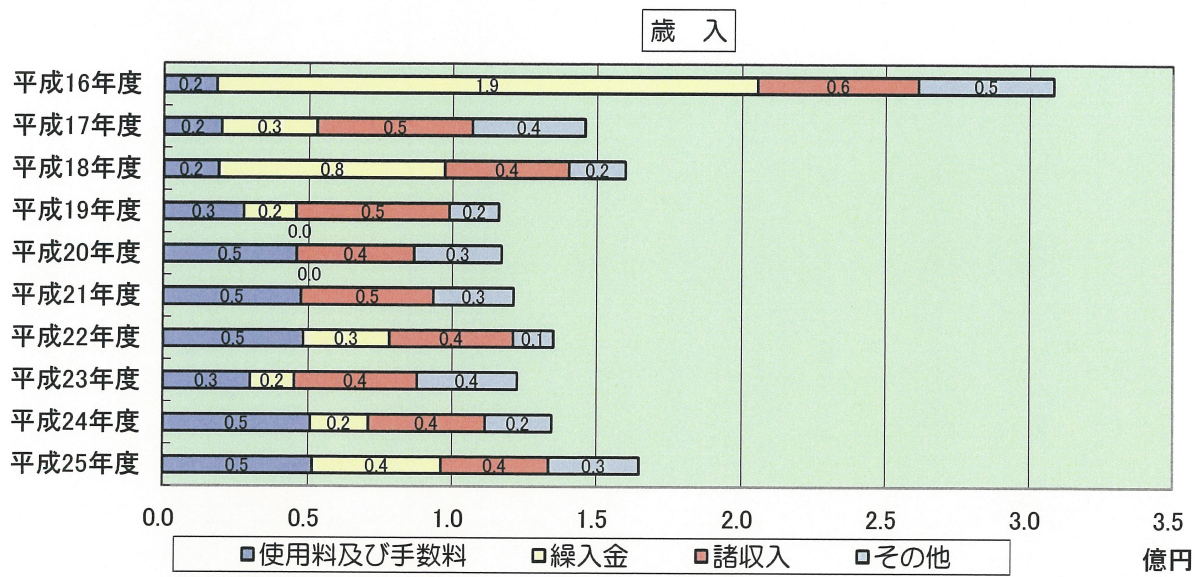
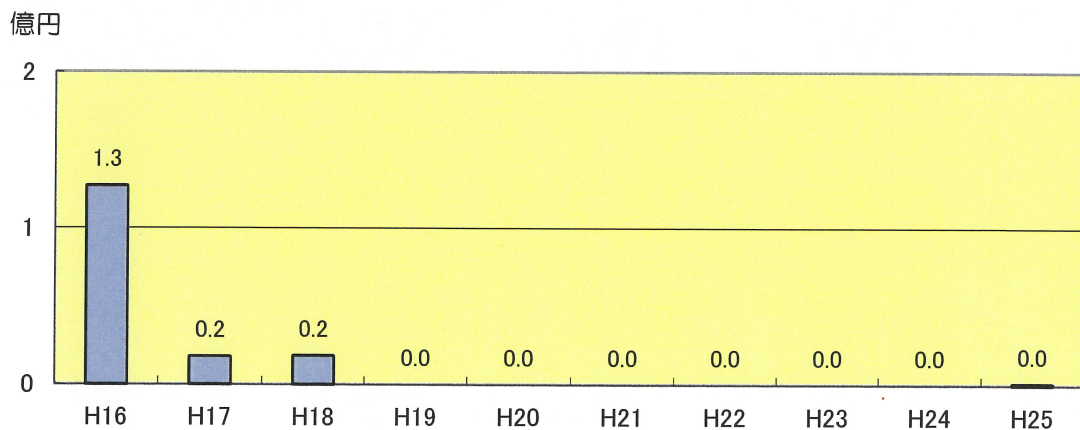


図15 一般会計からの繰入金の推移



(2) 国民健康保険特別会計の決算状況

平成25年度の歳入決算額は、47億9千万円で前年度と比べ1億8千万円(4.0%)の増となりました。歳出決算額は、44億2千万円で前年度に比べ1億8千万円(4.2%)の増となりました。

歳入は、国民健康保険料(6百万円)、療養給付費等負担金などの国庫支出金(5千2百万円)、一般被保険者第三者納付金や指定公費受入金などの諸収入(7百万円)が減となりましたが、療養給付費交付金(1千8百万円)、65歳から74歳の前期高齢者交付金(1億8千万円)、一般会計からの繰入金(2千万円)、前年度繰越金(2千4百万円)が増となったことにより、1億8千万円の増となりました。

歳出は、国民健康保険事務委託料などの総務費(5百万円)が減となりましたが、療養給付費事業や高額療養費給付事業などの保険給付費(4千1百万円)、後期高齢者支援負担金(2千2百万円)、共同事業拠出金(4千1百万円)、療養給付費等負担金過年度返還金の大幅増に伴う諸支出金(6千万円)が増となったことにより、1億8千万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表41、図16をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図17をご覧ください。

表41 国民健康保険特別会計の決算状況

歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減 A-B	伸び率 (A-B)/B
国民健康保険料	1,005,218	21.0	1,011,142	22.0	△5,924	△0.6
一部負担金	0	0.0	0	0.0	0	-
使用料及び手数料	295	0.0	267	0.0	28	10.5
国庫支出金	779,725	16.3	831,514	18.1	△51,789	△6.2
療養給付費交付金	342,626	7.2	324,094	7.0	18,532	5.7
前期高齢者交付金	1,385,205	28.9	1,203,605	26.2	181,600	15.1
県支出金	192,101	4.0	191,123	4.2	978	0.5
共同事業交付金	463,912	9.7	456,331	9.9	7,581	1.7
繰入金	257,694	5.4	241,882	5.3	15,812	6.5
繰越金	357,865	7.5	333,440	7.2	24,425	7.3
諸収入	1,451	0.0	8,290	0.2	△6,839	△82.5
歳入合計	4,786,090	100.0	4,601,687	100.0	184,403	4.0

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

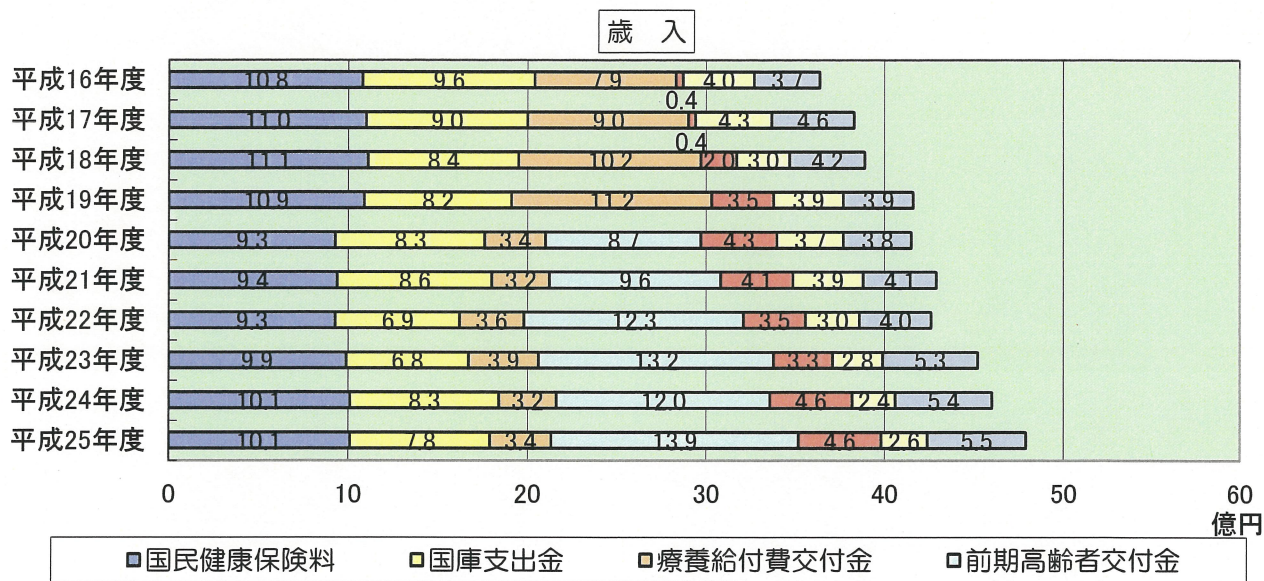
歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成 25 年度		平成 24 年度		比 較	
	決 算 額 A	構 成 比	決 算 額 B	構 成 比	増 減 A-B	伸 び 率 (A-B)/B
総 務 費	65,604	1.5	70,980	1.7	△ 5,376	△ 7.6
保 険 給 付 費	3,041,755	68.8	3,001,052	70.7	40,703	1.4
老人保健拠出金	22	0.0	25	0.0	△ 3	△ 12.0
後期高齢者支援金	544,348	12.3	522,344	12.3	22,004	4.2
前期高齢者納付金	554	0.0	552	0.0	2	0.4
介 護 納 付 金	233,281	5.3	218,549	5.1	14,732	6.7
共 同 事 業 拠 出 金	435,580	9.8	394,319	9.3	41,261	10.5
保 健 事 業 費	37,657	0.9	31,736	0.7	5,921	18.7
公 債 費	0	0.0	0	0.0	0	-
諸 支 出 金	64,764	1.5	4,266	0.1	60,498	1,418.1
歳 出 合 計	4,423,566	100.0	4,243,822	100.0	179,744	4.2

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

図16 国民健康保険特別会計の科目別決算状況



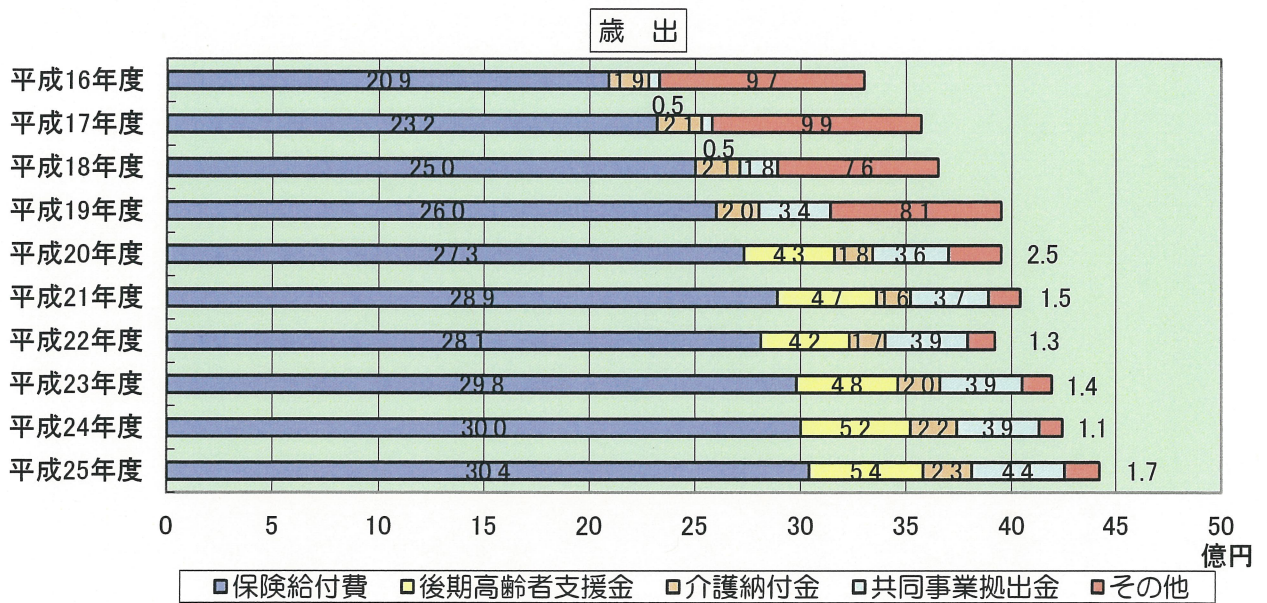
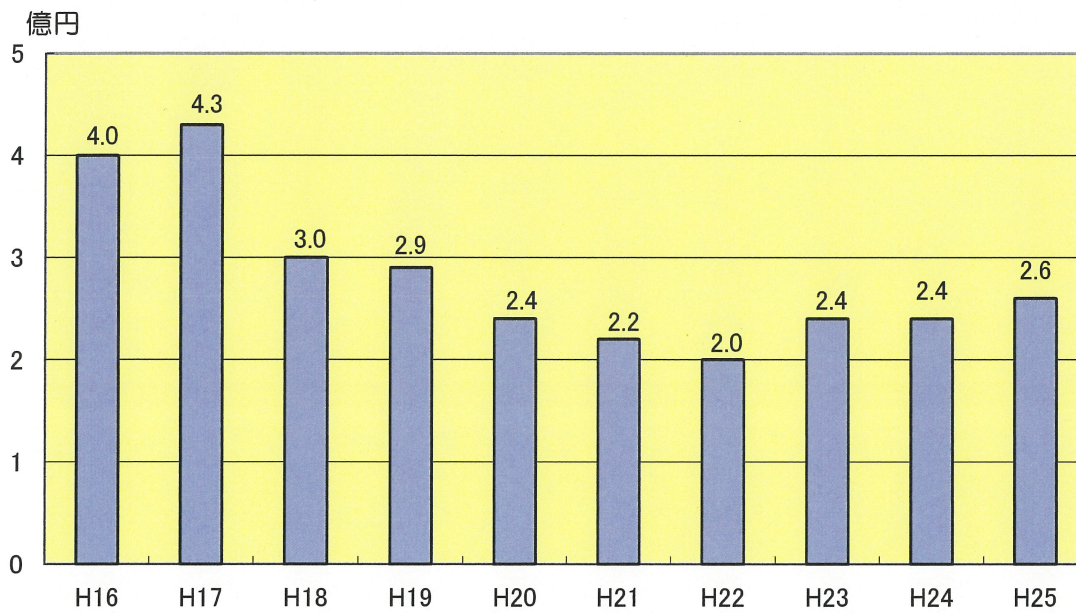


図17 一般会計からの繰入金の推移



(3) 後期高齢者医療特別会計の決算状況

平成25年度の歳入決算額は、8億円で前年度に比べ5百万円(0.7%)の減となりました。歳出決算額は、8億円で前年度とほぼ同額となりました。

歳入は、一般会計から繰り入れる保険基盤安定繰入金や療養給付費負担金(1千4百万円)が増となりましたが、療養給付費負担金過年度返還金などの諸収入(2千2百万円)が減となったことにより、5百万円の減となりました。

歳出は、一般会計への繰出金等の増により諸支出金(1千1百万円)が増となりましたが、制度の運営をおこなう三重県後期高齢者医療広域連合への納付金(1千3百万円)が増となったことにより、百万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表42、図18をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図19をご覧ください。

表42 後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減 A-B	伸び率 (A-B)/B
後期高齢者医療 保険料	279,525	34.8	279,634	34.6	△109	△0.0
使用料及び手数料	48	0.0	56	0.0	△8	△14.3
繰入金	496,559	61.8	482,446	59.6	14,113	2.9
繰越金	9,869	1.2	7,491	0.9	2,378	31.7
諸収入	17,705	2.2	39,564	4.9	△21,859	△55.2
歳入合計	803,706	100.0	809,190	100.0	△5,484	△0.7

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減 A-B	伸び率 (A-B)/B
総務費	20,531	2.6	20,386	2.6	145	0.7
後期高齢者医療 広域連合納付金	750,658	93.8	738,031	92.3	12,627	1.7
諸支出金	29,407	3.7	40,905	5.1	△11,498	△28.1
歳出合計	800,595	100.0	799,322	100.0	1,273	0.2

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

図18 後期高齢者医療特別会計の科目別決算状況

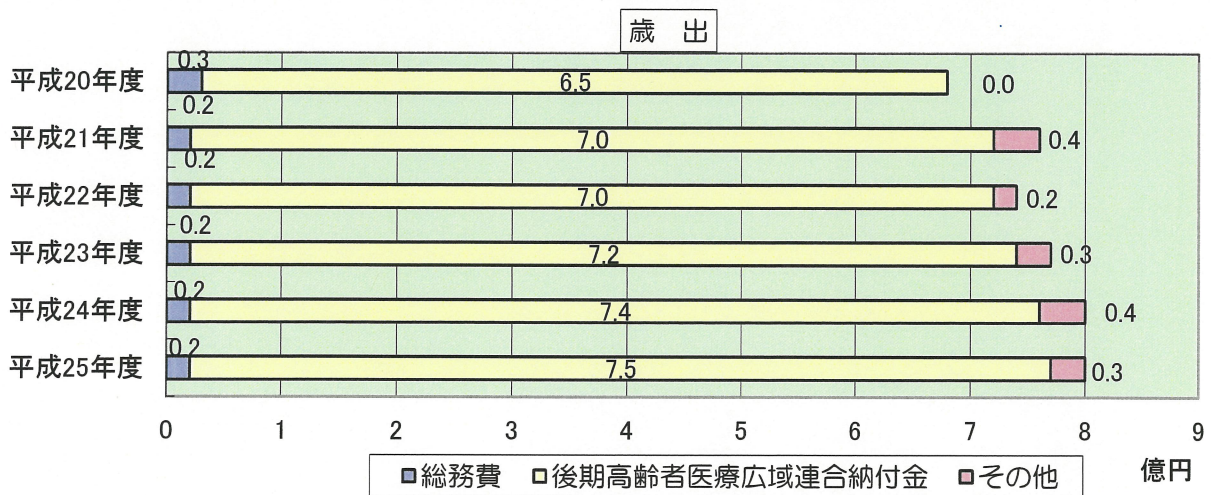
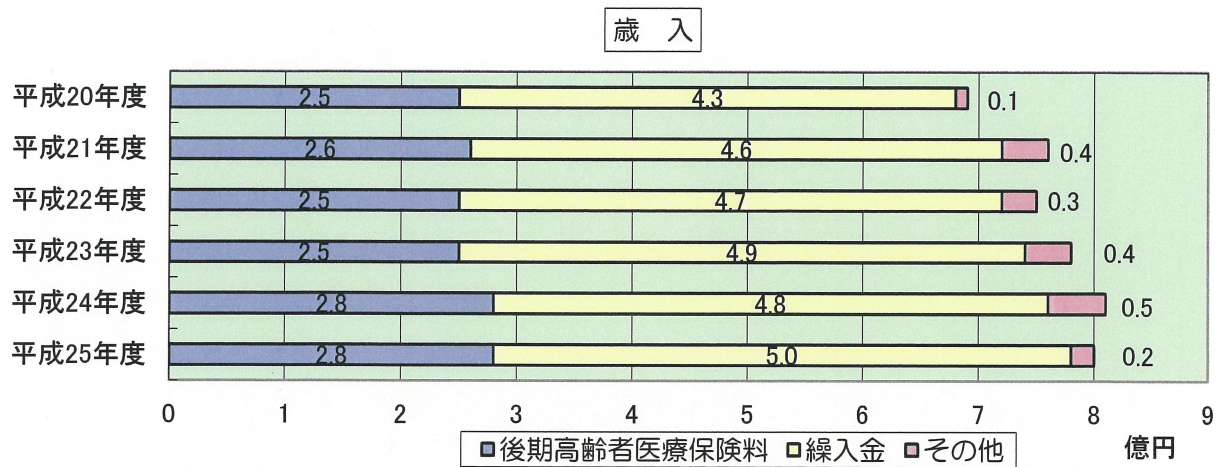
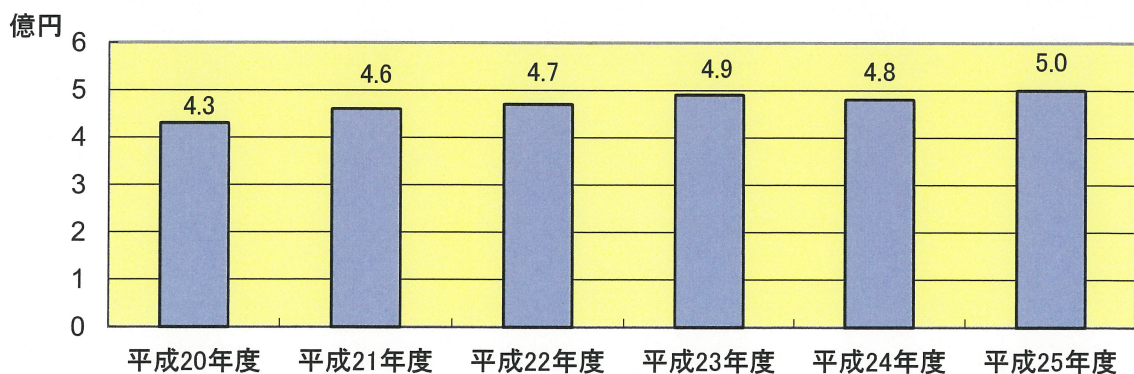


図19 一般会計からの繰入金の推移



(4) 介護保険特別会計の決算状況

平成25年度の歳入決算額は、29億2千万円で前年度に比べ2億1千万円(7.9%)の増となりました。歳出決算額は、28億5千万円で前年度に比べ2億4千万円(9.1%)の増となりました。

歳入は、地域支援事業交付金などの国庫支出金(4千3百万円)が減となりましたが、介護給付費交付金などの支払基金交付金(3千3百万円)、地域支援事業への一般会計からの繰入金や介護給付費準備基金からの繰入金(8千5百万円)、前年度からの繰越金(5千5百万円)が増となったことにより、2億1千万円の増となりました。

歳出は、介護給付費準備基金積立金(1千万円)が減となりましたが、居宅介護サービス給付費や施設介護サービス給付費などの保険給付費(2億円)、介護保険事業過年度返還金や一般会計への繰出金などの諸支出金(3千万円)が増となったことにより、2億4千万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表43、図20をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図21をご覧ください。

表43 介護保険特別会計の決算状況

歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減 A-B	伸び率 (A-B)/B
保 険 料	516,579	17.7	500,570	18.5	16,009	3.2
分担金及び負担金	4,760	0.2	4,825	0.2	△65	△1.3
使用料及び手数料	43	0.0	48	0.0	△5	△10.4
国庫支出金	527,929	18.1	571,110	21.1	△43,181	△7.6
支払基金交付金	759,571	26.0	727,013	26.9	32,558	4.5
県支出金	388,724	13.3	391,159	14.5	△2,435	△0.6
財産収入	137	0.0	314	0.0	△177	△56.4
繰入金	554,568	19.0	469,610	17.4	84,958	18.1
繰越金	94,612	3.2	39,512	1.5	55,100	139.5
諸収入	1,024	0.0	1,005	0.0	19	1.9
歳入合計	2,917,947	100.0	2,705,165	100.0	212,782	7.9

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成25年度		平成24年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減 A-B	伸び率 (A-B)/B
総 務 費	79,605	2.8	61,282	2.3	18,323	29.9
保 険 給 付 費	2,606,209	91.5	2,408,015	92.2	198,194	8.2
地域支援事業費	105,642	3.7	104,338	4.0	1,304	1.2
基金積立金	137	0.0	10,000	0.4	△9,863	△98.6
公 債 費	0	0.0	0	0.0	0	-
諸 支 出 金	57,199	2.0	26,918	1.0	30,281	112.5
歳出合計	2,848,792	100.0	2,610,553	100.0	238,239	9.1

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

図20 介護保険特別会計の科目別決算状況

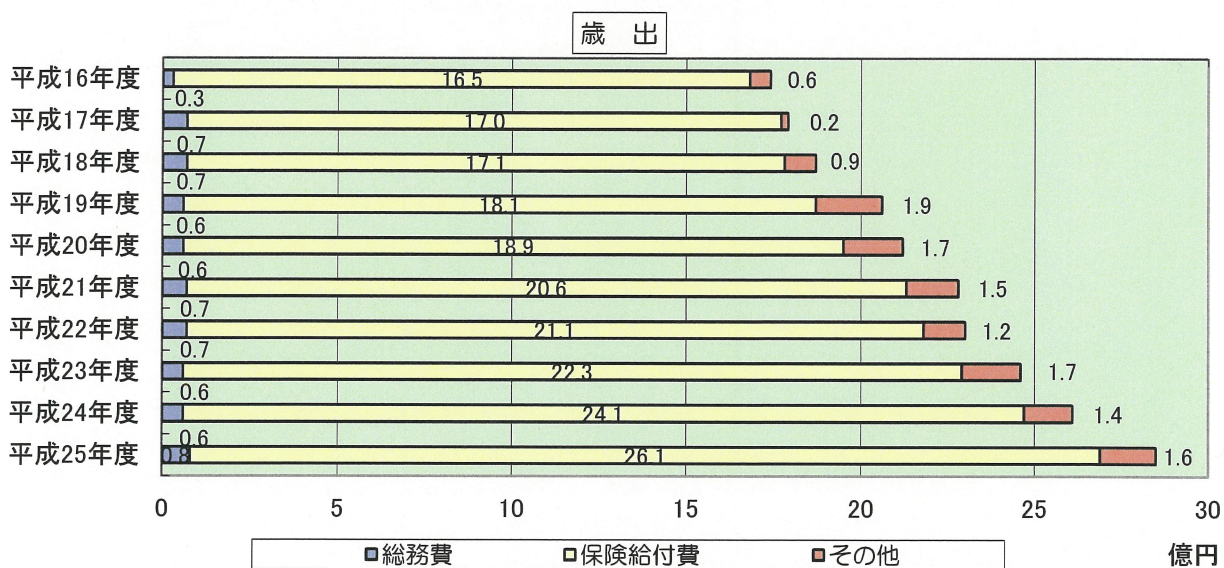
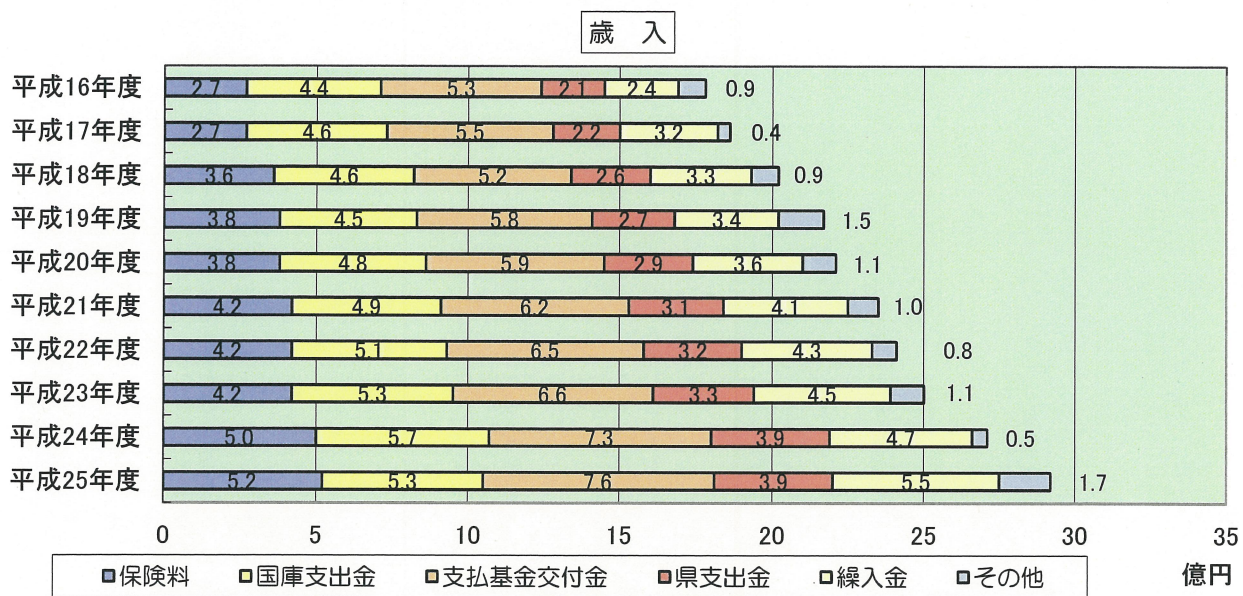
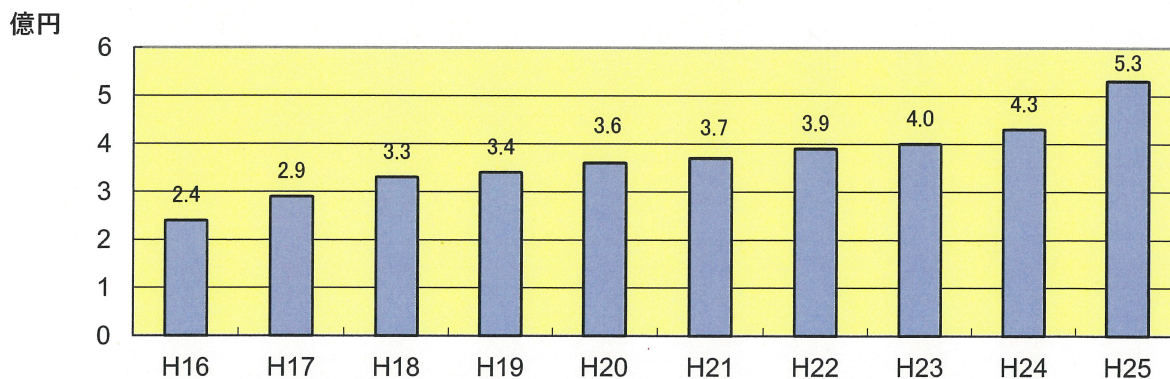


図21 一般会計からの繰入金の推移



(5) 農業集落排水事業特別会計の決算状況

平成 25 年度の歳入決算額は、3億3千万円で前年度に比べ6千万円 (22.3%) の増となりました。歳出決算額は、3億2千万円で前年度に比べ7千万円 (28.7%) の増となりました。

歳入は、一般会計からの繰入金 (9 百万円) などが減となりましたが、農業集落排水施設整備に充てられる県支出金 (4 千万円)、農業集落排水事業債を借入したことによる市債 (3 千 3 百万円) が増となったことにより、6 千万円の増となりました。

歳出は、公債費 (1 千 2 百万円) が減となりましたが、農業集落排水を公共下水道へ統合する施設維持修繕事業などの施設費 (8 千 2 百万円) が増となったことにより、7 千万円の増となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表 44、図 22 のとおりです。また、一般会計からの繰入金の推移は、図 23 をご覧ください。

表44 農業集落排水事業特別会計の決算状況

歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		比 較	
	決 算 額 A	構成比	決 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
分担金及び負担金	2,100	0.6	300	0.1	1,800	600.0
使用料及び手数料	51,729	15.5	54,866	20.2	△ 3,137	△ 5.7
県 支 出 金	40,000	12.0	0	0.0	40,000	皆増
繰 入 金	178,270	53.6	186,808	68.7	△ 8,538	△ 4.6
繰 越 金	27,179	8.2	30,112	11.1	△ 2,933	△ 9.7
市 債	33,400	10.0	0	0.0	33,400	皆増
歳 入 合 計	332,678	100.0	272,086	100.0	60,592	22.3

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		比 較	
	決 算 額 A	構成比	決 算 額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
施 設 費	183,080	58.1	101,115	41.3	81,965	81.1
公 債 費	132,081	41.9	143,792	58.7	△ 11,711	△ 8.1
歳 出 合 計	315,161	100.0	244,907	100.0	70,254	28.7

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

図22 農業集落排水事業特別会計の科目別決算状況

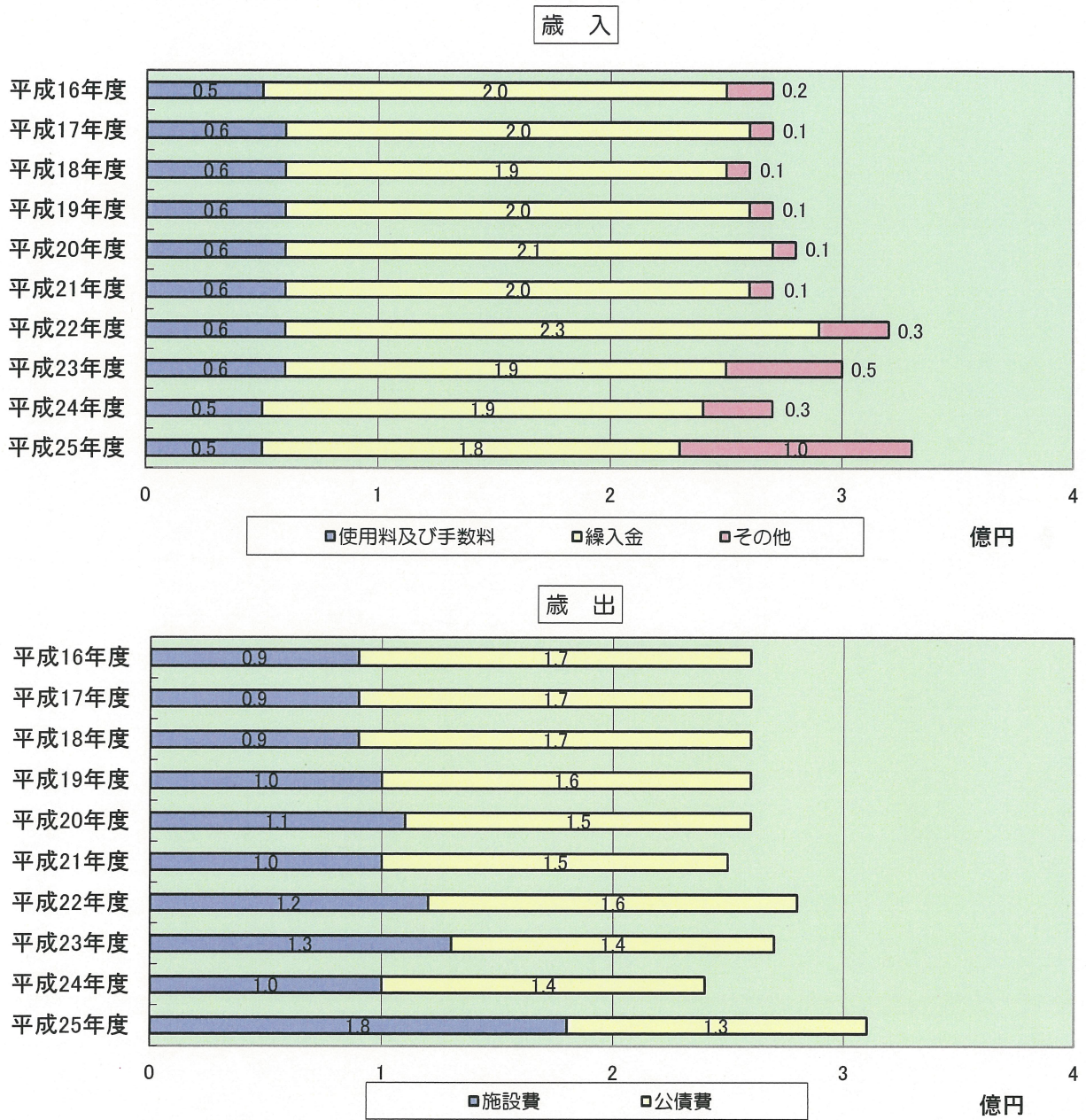
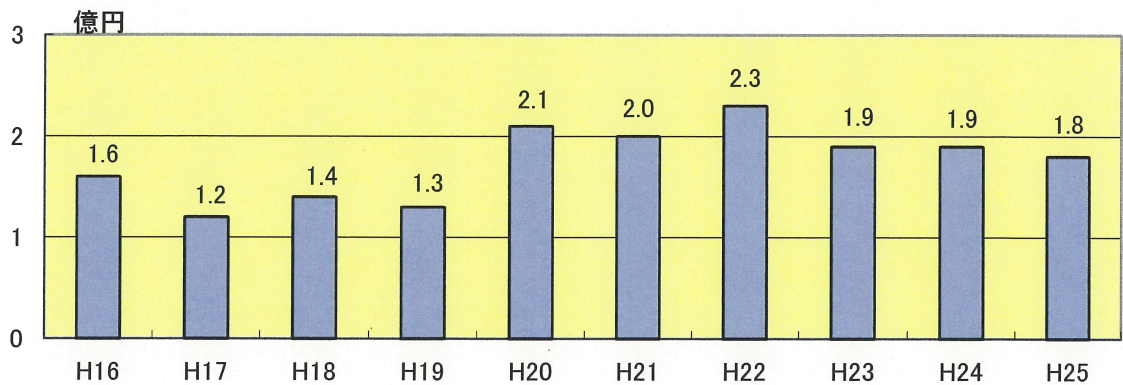


図23 一般会計からの繰入金の推移



(6) 下水道事業特別会計の決算状況

平成 25 年度の歳入決算額は、15 億 4 千万円で前年度に比べ 1 億 9 千万円 (11.0%) の減となりました。歳出決算額は、14 億 6 千万円で前年度に比べ 1 億 5 千万円 (9.4%) の減となりました。

歳入は、下水道使用料 (2 千 5 百万円)、社会資本整備総合交付金などの国庫支出金 (2 千 1 百万円)、一般会計からの繰入金 (1 億 3 千万円)、公共下水道事業債や流域下水道事業債などの市債 (7 百万円) が減となったことにより、1 億 9 千万円の減となりました。

歳出は、管路施設整備事業や社会資本整備総合交付金事業などの建設改良費などの事業費 (4 千 4 百万円)、過去の大規模事業の償還が終了したことにより公債費 (1 億 1 千万円) が減となったことにより、1 億 5 千万円の減となりました。

前年度と比較した決算状況及び科目別決算状況は、表 45、図 24 をご覧ください。また、一般会計からの繰入金の推移は、図 25 をご覧ください。

表45 下水道事業特別会計の決算状況

歳入決算

(単位：千円、%)

区 分	平成 25 年度		平成 24 年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
分担金及び負担金	32,889	2.1	38,011	2.2	△ 5,122	△ 13.5
使用料及び手数料	417,857	27.2	443,023	25.6	△ 25,166	△ 5.7
国庫支出金	16,300	1.1	37,700	2.2	△ 21,400	△ 56.8
県支出金	51,563	3.4	51,563	3.0	0	0.0
繰入金	880,767	57.3	1,014,061	58.7	△ 133,294	△ 13.1
繰越金	117,198	7.6	116,475	6.7	723	0.6
市債	21,400	1.4	28,100	1.6	△ 6,700	△ 23.8
歳入合計	1,537,974	100.0	1,728,933	100.0	△ 190,959	△ 11.0

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

歳出決算

(単位：千円、%)

区 分	平成 25 年度		平成 24 年度		比 較	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増 減 A-B	伸び率 (A-B)/B
事業費	520,004	35.6	564,083	35.0	△ 44,079	△ 7.8
公債費	939,840	64.4	1,047,653	65.0	△ 107,813	△ 10.3
歳出合計	1,459,845	100.0	1,611,736	100.0	△ 151,891	△ 9.4

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

図24 下水道事業特別会計の科目別決算状況

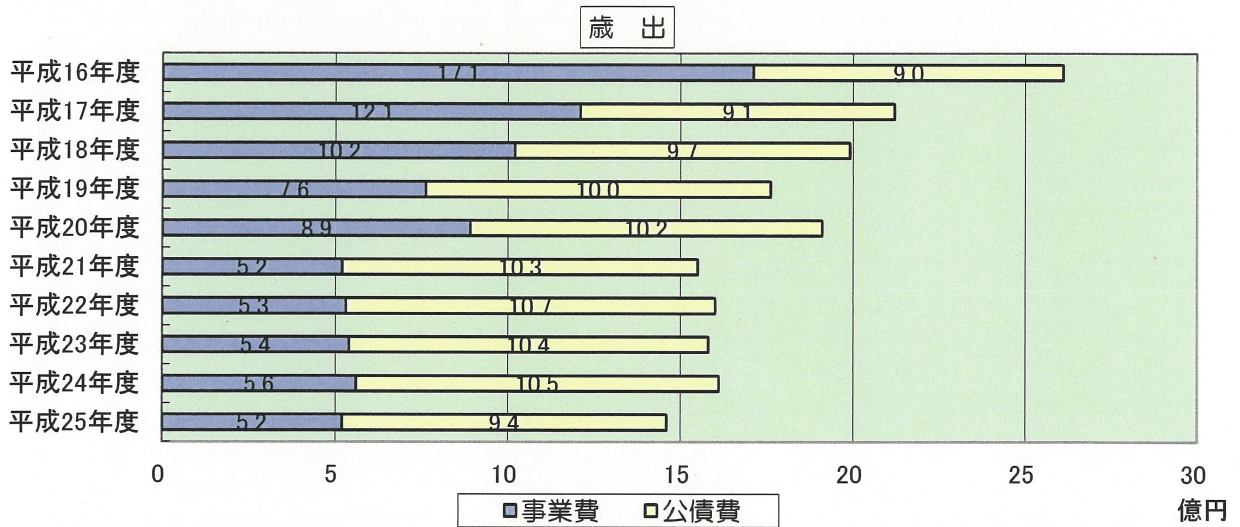
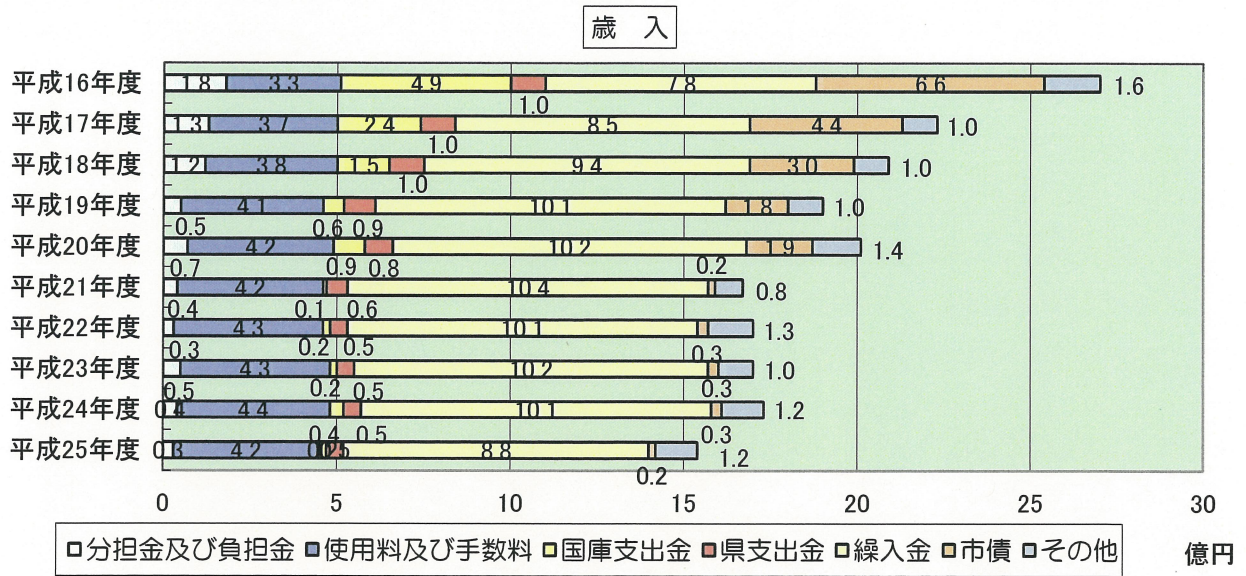
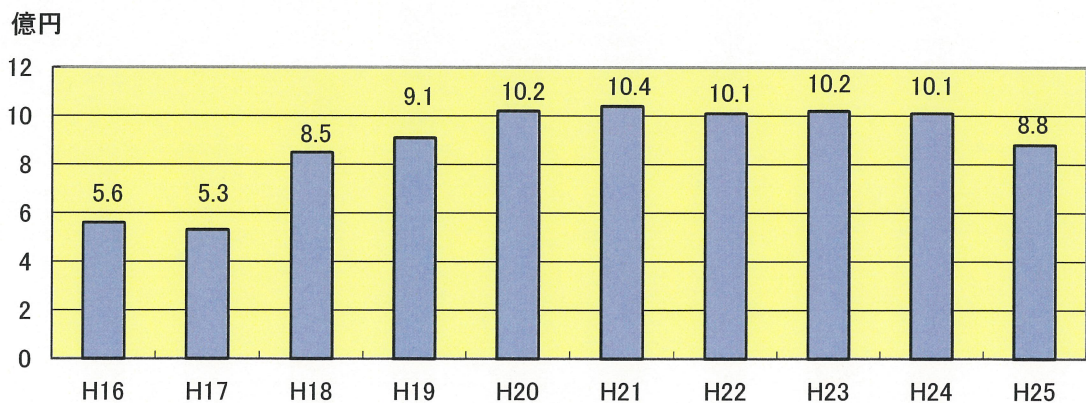


図25 一般会計からの繰入金の推移



(7) 水道事業会計の決算状況

平成25年度の損益計算書は、収益が8億7千万円で、前年度に比べ2千万円(1.8%)の減となりました。費用は7億8千万円で、前年度に比べ1千万円(1.8%)の減となりました。

収益は、給水収益や他会計負担金などの営業収益(1千2百万円)が増となりましたが、他会計補助金などの営業外収益(2千8百万円)が減となったことにより、1千6百万円の減となりました。

費用は、資産減耗費などの営業費用が7百万円、支払利息及び企業債取扱諸費、受託工事費などの営業外費用が7百万円減となったことにより、1千5百万円の減となりました。

前年度と比較した損益計算書は表46、貸借対照表は表47をご覧ください。また、一般会計からの補助金の推移については図26、損益勘定留保資金の推移は図27をご覧ください。

表46 水道事業会計損益計算書

(単位：千円)

	平成25年度	平成24年度	増減	伸び率
水道事業収益	866,845	883,178	△16,333	△1.8
水道事業費用	779,088	793,688	△14,600	△1.8
当年度純利益(△損失)	87,757	89,490	△1,733	△1.9
前年度繰越利益剰余金(△欠損金)	365,524	280,514	85,010	30.3
当年度未処分利益剰余金(△未処理欠損金)	453,281	370,004	83,277	22.5

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

表47 水道事業会計貸借対照表

(単位：千円)

	平成25年度	平成24年度	増減	伸び率
資産	15,396,880	15,337,450	59,430	0.4
負債	312,894	361,887	△48,993	△13.5
資本	15,083,986	14,975,564	108,422	0.7
うち、借入資本金(企業債)	4,164,156	4,308,273	△144,117	△3.3

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

図26 一般会計からの補助金の推移

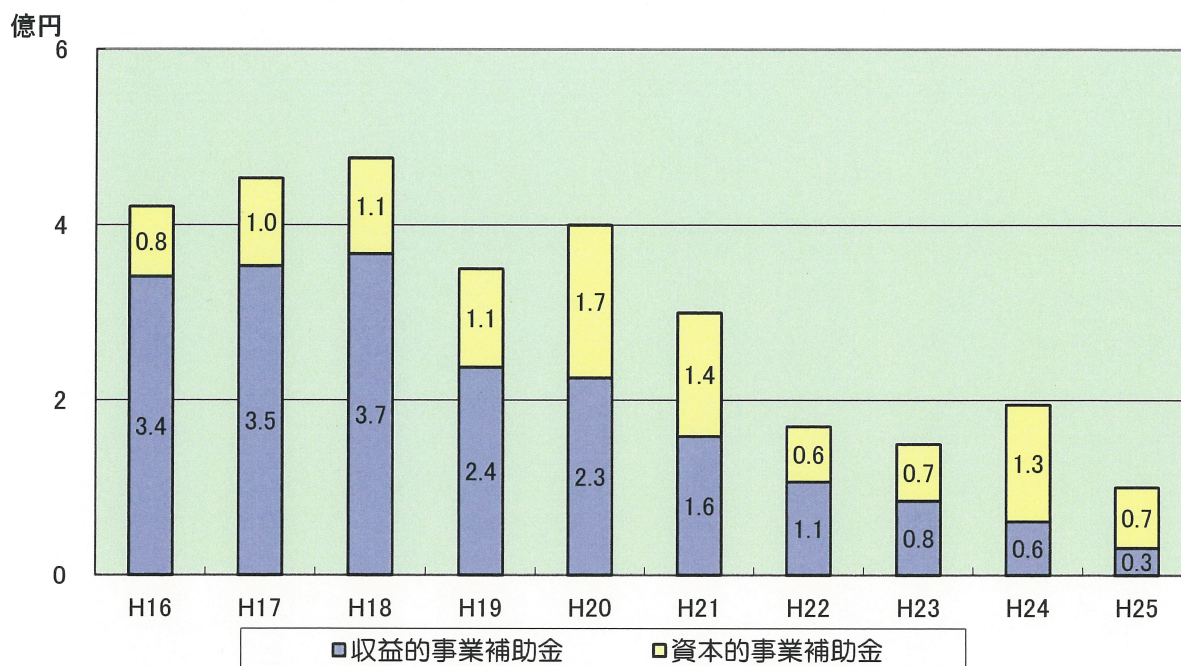
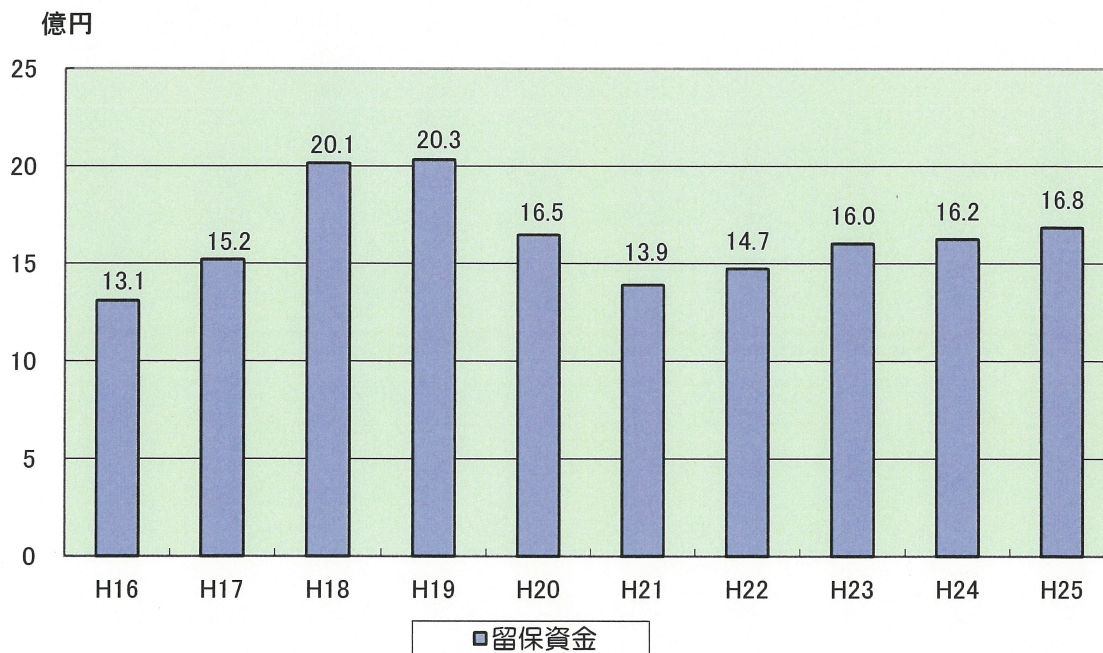


図27 損益勘定留保資金の推移



留 保 資 金・・・ 現金支出を伴わない減価償却費や資産減耗費等、将来の施設更新に備え企業の内部に留保される資金です。資本的収入が支出に対して不足する場合の補てん財源になります。